

子育てをもっと楽しく！ママのための日本語サロン 活動報告⑦ 「子どもとのコミュニケーション① ～絵本の持つ力～」

日時：平成 27 年 12 月 8 日（火）10:00～12:00

場所：刈谷市国際プラザ、刈谷市社会教育センター めばえ図書室

外部講師：小笠原真由美氏（赤ちゃん絵本アドバイザー）

日本語講師：岡部真理子氏

参加者数：【学習者】9名（中国5名、インドネシア2名、フィリピン2名）

【日本語パートナー】7名

【通訳】1名（タガログ語）

託児スタッフ：2名（ママハウス）



<活動内容>

1. 自己紹介

- 自己紹介シートを互いに見せながら、グループで自己紹介

2. ウォーミングアップ

- 子どもの好きな絵本（子どもが小さくてまだ好きな絵本がない場合は自分の好きな絵本）を各自で付箋紙に書く
- グループで共有
- 全体で共有

いないないばあ、はらぺこあおむし、がたんごとん、エルマー、動物や乗り物の絵本 等

3. 絵本の読み聞かせについて

- 小笠原氏より、絵本の読み聞かせをしていただきながら、絵本の読み聞かせの良さと絵本の選び方についてのお話

4. めばえ図書室の見学

- めばえ図書室に移動して、図書室の使い方の説明を受けた。希望者は貸し出しカードを作成

5. ふりかえりシート、覚えたい言葉シート、ポートフォリオ

- 日本語パートナーとともに本日の活動をふりかえり、それぞれのシート（資料1～3参照）に記入
- 学習者が本日の活動を通して「わかったこと」、「疑問点」を発表

【わかったこと】

お勧めの本・めばえ図書室の存在・赤ちゃんことば・本の読み方・選び方

【疑問点、難しかったこと】

・擬音語、擬態語（オノパトペ）について

- 外部講師より学習者から出た「疑問点」について回答

<参加者の感想、疑問点、わかったこと>

【学習者】

- ・絵本の読み方と選び方がわかった
- ・子どもが興味を示さなかったら、読むのをやめるべきですか？
- ・本の借り方がわかった
- ・どのように子どもに絵本に興味を持たせたら良いか→母親がまずは絵本を楽しむこと、子供の機嫌が良いときに読み聞かせる
- ・本を読むことは大事です
- ・疑問が次々にくると頭がパニックになります

【日本語パートナー】

- ・絵本を読むタイミングや本の意味を知れて良かった。
- ・学習者の国の絵本について聞いたこと。やさしい日本語を使うことを意識した。前回よりも学習者といろいろな話題で話げできた。
- ・外国人のお母さんも疑問に思うことが同じだと気づいた。
- ・みなさんの好きな絵本がわかった。めばえ図書室の場所がわかった。
- ・絵本を読むタイミングがわかった。
- ・学習者に、日本語できない、予防接種の予約が日本語でできない、などの相談をされた。サポートしてあげたいが、どこまでしていいのかな・・・と思った。

